

世界を巡る、攻撃命令



東郷 潤

ある星に、違う善悪を主張する人々がいます。





ところで、この星の人々は、悪と戦わなければいけないと信じていました。誰もが皆、子供の頃から、ずっとそういう教育を受けて来たのです。

・・・そこで、彼らの言葉を言い換えると、こうなります。

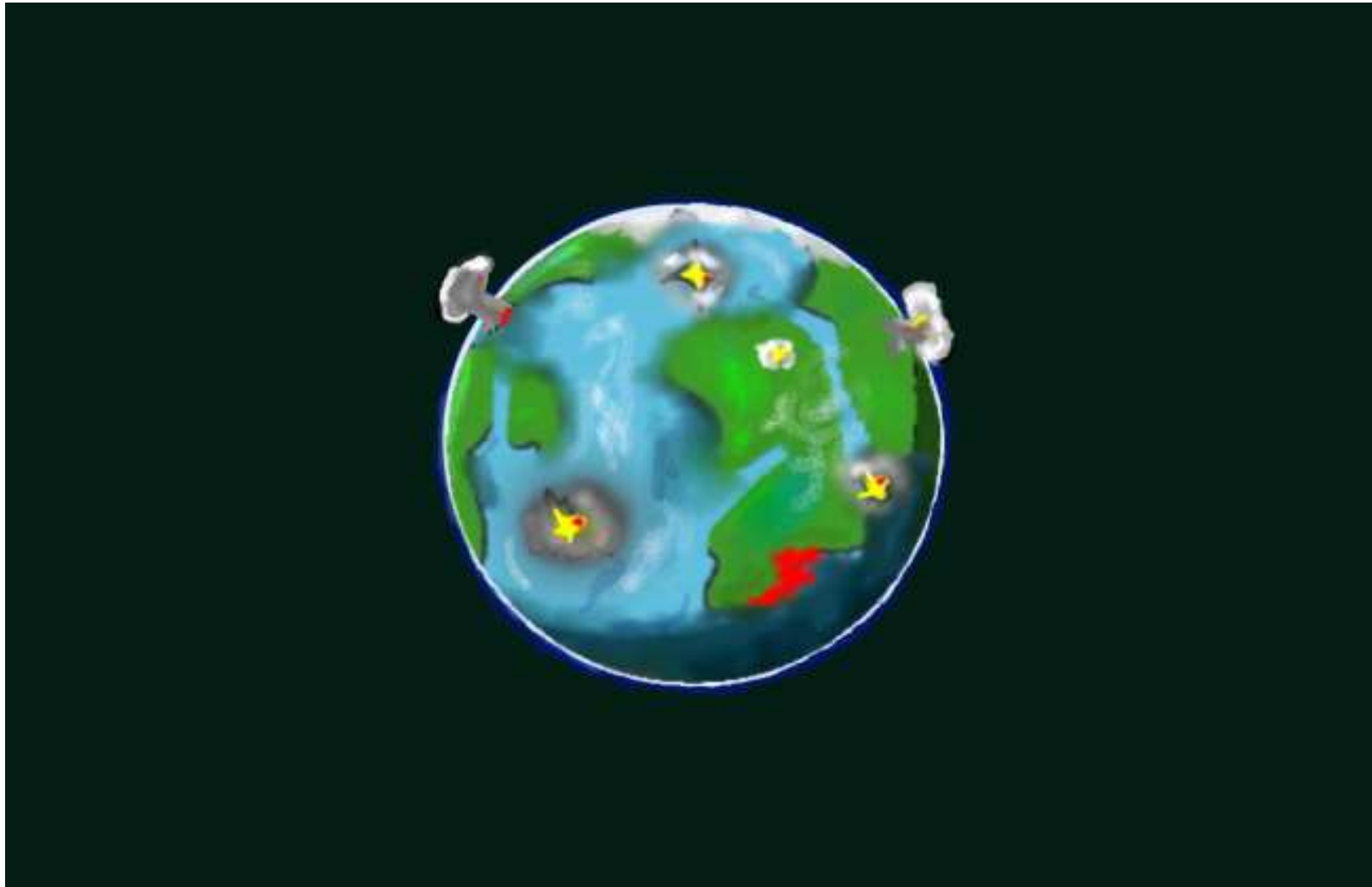
こいつらと戦え！

悪いのは、この人たちです

そうじゃない。
あいつらと戦え！

いいえ、悪いのは、あの人たちです





この星では常に、人が人を攻撃しています。

あとがき ー絵本「世界を巡る攻撃命令」

善悪という考え方／言葉は、本当に様々な錯覚を生み出します。そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。(詳細は、下記WEBの絵本集、 弊著「善悪中毒」、「原爆への復讐」をご参照ください)。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010